



平成31年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月11日

上場会社名 株式会社創通

上場取引所 東

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 難波 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 根本 義紀

TEL 03-6386-0311

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日

配当支払開始予定日

平成31年5月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年8月期第2四半期の連結業績(平成30年9月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年8月期第2四半期	6,836	23.2	1,363	5.9	1,374	1.1	937	2.0
30年8月期第2四半期	8,905	2.7	1,287	12.5	1,359	6.1	956	3.5

(注) 包括利益 31年8月期第2四半期 1,000百万円 (8.8%) 30年8月期第2四半期 919百万円 (16.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年8月期第2四半期	63.99	
30年8月期第2四半期	65.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年8月期第2四半期	27,230	22,335	80.7	1,500.25
30年8月期	26,675	21,664	79.9	1,455.12

(参考) 自己資本 31年8月期第2四半期 21,985百万円 30年8月期 21,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期		15.00		22.00	37.00
31年8月期		15.00			
31年8月期(予想)				21.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1.平成30年8月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭、特別配当7円00銭

2.平成31年8月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭、特別配当6円00銭

3. 平成31年 8月期の連結業績予想(平成30年 9月 1日～平成31年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	7.0	2,540	2.9	2,565	5.9	1,760	5.9	120.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年8月期2Q	15,000,000 株	30年8月期	15,000,000 株
期末自己株式数	31年8月期2Q	345,745 株	30年8月期	345,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年8月期2Q	14,654,255 株	30年8月期2Q	14,654,255 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、第2四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しています。決算説明会で配布した資料を当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需を中心とした企業業績が好調を維持し、雇用、所得環境も改善傾向が持続しつつも、他方、米中貿易戦争が長期化し、それに伴う中国経済の減速を背景として外需が下振れしており、景気にやや足踏み感のある不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、中核であるアニメーション作品やエンタテインメントコンテンツのプロデュースにおいて、より良い企画・ビジネススキームの提案により、新たなスポンサーの獲得に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,836百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益1,363百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益1,374百万円（前年同期比1.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益937百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、継続番組である「それいけ！アンパンマン」の他、「色づく世界の明日から」、「ガルー・エアフォース」等の新作テレビアニメーション番組等についての製作出資・製作委員会の組成・共同運営並びにプロデュース事業を実施いたしました。

期初の計画通りに推移いたしました。プロデュースした作品数が減少していること、また当社が管理するキャラクターを利用した新規販促・集客キャンペーン、イベントの受注が減少したことが、前年同期に比べ売上が減少した大きな要因となっております。

この結果、メディア事業の売上高は3,829百万円（前年同期比40.8%減）、営業利益208百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、「ガンダム」シリーズについては、玩具、アーケードゲームおよび遊技機に関する著作権収入が増加したこと、「ガンダム」シリーズ以外については、出資作品が好調に推移し、製作委員会からの配分金収入が増加したことが、前年同期に比べ売上高が増加した主な要因となっております。

この結果、ライセンス事業の売上高は2,712百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益1,171百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業におきましては、プロ野球のオフシーズンに当たるため売上額自体は大きくありませんが、概ね期初の計画通りに推移しております。

この結果、スポーツ事業の売上高は294百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益29百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ555百万円増加し、27,230百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加498百万円及び投資有価証券の増加100百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、4,895百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少175百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ670百万円増加し、22,335百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益937百万円の計上による増加及び剰余金の配当322百万円による減少等であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加し、20,303百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は878百万円（前年同期は433百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,376百万円、売上債権の減少額41百万円、仕入債務の減少額175百万円及び法人税等の支払額367百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は49百万円（前年同期は283百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出60百万円及び投資有価証券の売却による収入26百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は329百万円（前年同期は343百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額322百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

概ね期初の予想通りに推移しており、平成30年10月11日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,804,712	20,303,615
受取手形及び売掛金	3,371,832	3,330,020
商品	65	60
仕掛品	8,994	30,081
貯蔵品	9,208	10,491
その他	446,412	429,282
貸倒引当金	△99,765	△100,622
流動資産合計	23,541,461	24,002,929
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	38,518	37,117
車両運搬具（純額）	10,350	10,558
工具、器具及び備品（純額）	26,084	29,476
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	397,665	399,864
無形固定資産	29,112	26,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,512,945	2,613,642
繰延税金資産	34,277	34,050
その他	159,933	154,059
投資その他の資産合計	2,707,155	2,801,752
固定資産合計	3,133,932	3,227,832
資産合計	26,675,394	27,230,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,044,039	3,868,787
未払法人税等	376,139	430,237
賞与引当金	38,100	36,600
その他	203,251	188,881
流動負債合計	4,661,530	4,524,506
固定負債		
繰延税金負債	253,859	279,358
退職給付に係る負債	87,178	85,283
その他	7,876	6,491
固定負債合計	348,914	371,134
負債合計	5,010,445	4,895,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	20,355,307	20,970,632
自己株式	△582,123	△582,123
株主資本合計	20,579,173	21,194,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744,484	790,563
その他の包括利益累計額合計	744,484	790,563
非支配株主持分	341,290	350,059
純資産合計	21,664,948	22,335,121
負債純資産合計	26,675,394	27,230,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
売上高	8,905,007	6,836,539
売上原価	7,127,299	5,002,251
売上総利益	1,777,708	1,834,288
販売費及び一般管理費	490,454	470,703
営業利益	1,287,253	1,363,585
営業外収益		
受取利息	1,705	1,432
受取配当金	9,750	11,729
投資事業組合運用益	75,132	—
その他	1,598	1,135
営業外収益合計	88,186	14,298
営業外費用		
上場関連費用	3,144	3,083
研究開発負担金	7,068	—
為替差損	5,752	101
営業外費用合計	15,965	3,184
経常利益	1,359,474	1,374,698
特別利益		
固定資産売却益	1,217	—
投資有価証券売却益	29,226	3,254
特別利益合計	30,443	3,254
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1,135
特別損失合計	—	1,135
税金等調整前四半期純利益	1,389,918	1,376,817
法人税、住民税及び事業税	376,637	416,986
法人税等調整額	35,870	5,545
法人税等合計	412,508	422,531
四半期純利益	977,409	954,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,580	16,566
親会社株主に帰属する四半期純利益	956,829	937,718

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
四半期純利益	977,409	954,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,078	45,724
その他の包括利益合計	△58,078	45,724
四半期包括利益	919,330	1,000,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898,733	983,797
非支配株主に係る四半期包括利益	20,597	16,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,389,918	1,376,817
減価償却費	7,499	9,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,777	857
賞与引当金の増減額(△は減少)	900	△1,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,011	△1,894
受取利息及び受取配当金	△11,448	△13,162
投資有価証券売却損益(△は益)	△29,226	△2,118
売上債権の増減額(△は増加)	△154,403	41,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,043	△22,364
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,765	△175,252
その他	△348,823	20,003
小計	796,396	1,232,353
利息及び配当金の受取額	11,450	13,164
法人税等の支払額	△374,263	△367,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	433,583	878,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,945	△9,596
無形固定資産の取得による支出	△440	△11,212
投資有価証券の取得による支出	△328,676	△60,720
投資有価証券の売却による収入	53,605	26,146
その他	7,065	6,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,390	△49,376
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△337,029	△322,376
非支配株主への配当金の支払額	△6,380	△7,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,410	△329,820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△193,218	498,903
現金及び現金同等物の期首残高	17,455,143	19,804,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,261,925	20,303,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,470,769	2,154,933	279,304	8,905,007	—	8,905,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,470,769	2,154,933	279,304	8,905,007	—	8,905,007
セグメント利益	325,842	973,016	24,525	1,323,385	△36,131	1,287,253

(注) 1. セグメント利益の調整額△36,131千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年9月1日至平成31年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,829,569	2,712,351	294,619	6,836,539	—	6,836,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,829,569	2,712,351	294,619	6,836,539	—	6,836,539
セグメント利益	208,452	1,171,716	29,928	1,410,097	△46,512	1,363,585

(注) 1. セグメント利益の調整額△46,512千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。